

【R4】空き家と空き農地を一体的に流通させる地域バンクの設立 (大島小学校区まちづくり協議会)

別添資料4

大島地区内の柏原集落を重点エリアとし、移住の受け皿としての空き家と空き農地の利活用を目的として直接効果の上がるような調査を現地並びに所有者に対して実施するとともに、行政や事業者・専門家等との連携体制を構築したこと、さらには地元内の協力活動も行ったことで、移住促進と空き家・空き農地対策がより効果的・効率的に進んでいく状況を築くことができた。

■ 事業概要

| | |
|-----------|--|
| 事業部門 | 部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業 |
| 事業地域 | 兵庫県猪名川町 |
| 背景・課題 | 一昨年度と昨年で地域で活性化計画と移住促進計画を作成しており、この指針の重要なポイントの一つである移住者ニーズにマッチした戦略として立てた空き家と休耕田をセットした活用という課題をいかに実現するか。 |
| 目的 | ・移住希望者のニーズに対応した利活用可能な空き家を空き農地とセットで掘り起こすとともに、それらを活用促進させる行政や事業者等との連携体制を構築することで空き家市場を活性化させる。 ・利活用可能空き家の2つを“都市近郊の気軽に移住できるまち”をめざすモデル住宅としての体裁を整える。 |
| 連携する団体・役割 | 猪名川町地域交流課・地域支援及び町各担当の窓口、同都市政策課・調整区域内の空き家活用支援、同農業環境課・農地の活用促進支援、同企画政策課・移住促進支援及び移住者情報の交流、阪神北県民局地域振興課・広域的な地域PR面での支援、イナガワハウジングサービス・地域と連携した空き家流通の協働した取り組み、中井都市研究室・地元と協力した空き家及び休耕田調査の実施、空き家・休耕田流通のためのモデル案の作成、及び検討委員会や地元プロジェクトチームのコーディネート支援など。 |

■ 取り組み内容と成果

①大島地区における空き家及び空き農地の詳細把握

- ・地元ヒアリング等による利用可能空き家調査の実施と、リスト及びカルテの作成
 - ・地元メンバーでプロジェクトチームを結成するとともに、専門家にも参加してもらい(老朽度等の判定)調査活動を行った。
 - ・大島地区の中でも北部に位置し、観光資源や古民家が多く立地し集落としてまとまっている柏原エリアを重点的に取り組むこととし、他のエリアにおいても適宜情報を収集して活用可能な空き家31軒をリストアップして、各空き家に関してカルテを作成した。所有者等の活用の意向については、計5軒の空き家について売却及び賃貸の確認を行った。
 - ・空き農地に関しては、空き家同様に柏原エリアに対して重点的に調査を行い、地元農会を通じて昨年度調査に加えほ場整備エリア以外の伝統的な棚田について、空き家活用と合わせた活用促進を今後つくる新たな組織を通じて行っていく方針を確認した。



(写真)地元プロジェクトメンバーによる空き家調査風景



(写真)プロジェクトメンバー会合風景